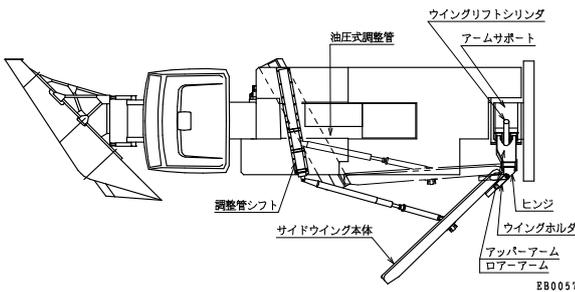


No・オプション名	17) マックレー装置
使用機械	除雪トラック
使用工法	拡幅除雪、雪び・雪堤処理
使用場所	道路(市町村道、県道、国道、高速)、山間部等の多雪地域
使用法	<p>1. 拡幅除雪の段切り工法 マックレーによる段切り工法は山間部や切土形式の道路などサイドウイングによる雪堤の押し出し作業が適切でなかったり、雪堤が高くサイドウイングによる施工が困難な場合に、ウイング推進角(図参照)を30~60°に開き、雪堤を車道側にかき出し、ロータリ除雪車で投雪を行う工法である。次の降雪および除雪に備えて、路肩の雪を掻き込み、ロータリ等で排雪する。</p> <p>2. 雪庇・高雪堤処理 ウイング仰角を45~60°にセットして雪庇や高雪堤をかき落とし、ロータリ除雪車で投雪を行う工法に使用される。施工可能高さは3.5m程度までである。</p>
機能構造	<p>10t級除雪トラックの側方に装着されるスノープラウで、先端を車体前方に向けて格納されているウイングを推進角30~60°に開き走行することで、雪庇、路肩に堆積した雪堤の雪を段切りして車道側にかき落とす機能を有する装置。ワイヤ昇降式とリンク昇降式(写真参照)がある。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">写真 マックレー装置(ワイヤ昇降式) 写真 マックレー装置(リンク昇降式)</p> <p>リンク昇降式の場合で操作手順を説明する。 格納姿勢から作業姿勢への操作手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウイングロック装置を開放する。 2) 調整管シフトを最外側までシフトした後、油圧式調整管により推進角を調整する。 3) ウィングリフトシリンダを伸ばしてウイングを任意の段切り作業高さ(0~1400mm)まで下降させる。 4) 必要に応じてウイングチルトシリンダを伸縮してチルト角(サイドウイング本体の水平面に対する傾き)を調整する。 <p>作業姿勢から格納姿勢の操作手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ウイングチルトシリンダを伸縮してウイングを水平にする。 2) ウィングリフトシリンダを縮めウイングを上げる。 3) 調整管シフトを最内側までシフトした後、油圧式調整管をストロークエンドまで縮める。 4) ウイングロック装置を固定する。 <div style="text-align: center;">  <p>EB0057</p> </div> <p style="text-align: center;">図 マックレー装置の構</p>

特徴	沿道状況として山間部や切土形式の道路などの条件が整えば効率の良い拡幅作業ができる。
留意事項	除雪抵抗によるモーメントを前後輪で支えるため、抵抗が大きくなりすぎると車両の操縦が難しくなる。

図・写真

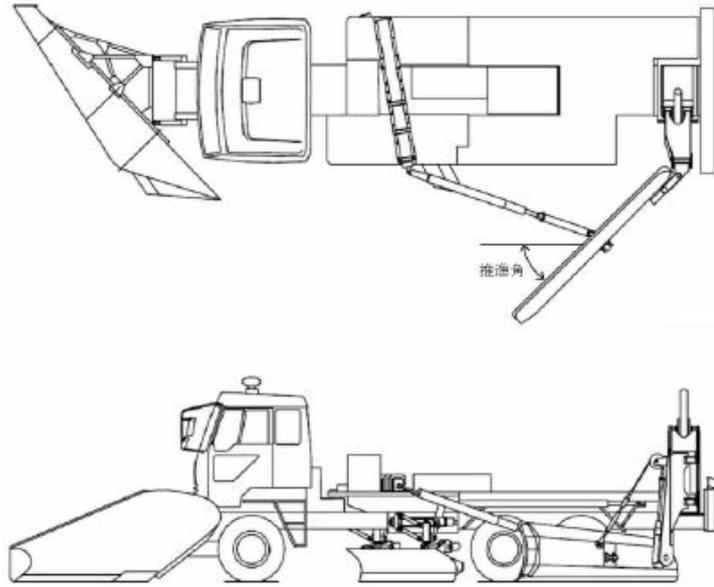


図 マックレー装置外観



写真 マックレー装置による除雪作業

写真



写真 マックレー装置による除雪作業



写真 マックレー装置による除雪作業

備考